

## 茨城県立太田第一高等学校野球部 9

### ○7月17日 (金) ひたちなか市民球場 第二試合 3回戦

一回戦で逆転勝利、二回戦ではサヨナラ勝ちと最高の流れで三回戦を迎えました。対戦高は優勝候補にも名前の挙がっているBシード藤代高校です。個々の力の差は十分わかっていますが、今、**チームの勢いは最高潮**、ここまで来ると高校野球はわかりません。誰もが総合力で藤代有利、展開によってはコールドもあると思ったでしょう。しかし、試合は予想に反して**接戦**となりました。**先発の池崎**、藤代打線を5回2失点と**最高のピッチング**を見せてくれました。

TEAM		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
太田一														
藤代														

  

IN	OUT	PL	B	S	O	U	IP	R	H	E	km/h
1	2	3	4	5	6	7	8	9			
TN	太田	志	小	金	向	川	佐	田	海	池	
1	2	3	4	5	6	7	8	9			
TN	藤代	古	谷	藤	星	浅	青	中	小		
1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	2	3	4	5	6	7	8	9			



太田一	000	000	10	1
藤代	110	000	33x	8



リリーフした秋葉も6回をピシャリと抑え迎えた7回表の攻撃、ワンアウトから6番の佐藤がレフトスタンドへ豪快なソロホームランを放ち2-1と1点差に迫ります。強豪シード藤代も急遽投手交代しますが、さらに代打小林直がクリーンヒットを放ちます。追加点にはなりませんが場内のボルテージは最高潮です。



しかし、その7回裏にアクシデントが起こります。一・二回戦、そしてこの試合でも好リリーフしていた秋葉が腕に痛烈な強襲ライナーを受け無念の退場となります。交代した佐藤が何とか抑えますが、流れは一気に藤代に傾き、結果1-8のコールドとなってしまいました。



## 茨城県立太田第一高等学校野球部 10

### ○感動の夏、皆様応援ありがとうございました。

なかなか結果の出ないこのチームでしたが、最後の最後、チームの持っている力を十分に出し切れた夏となりました。絶対に校歌を歌う!、しかも何回も歌う!その願いが、そしてその努力が、野球の神様に届いたと感じました。「練習はウソをつかない」まさにその言葉通りでした。

ボランティアのみならず、あらゆる面でお世話になったOBである石塚観光の綿引社長さんの「最後の夏、必ず君たちは勝てる!」という言葉通りになりました。翌日の新聞に載った記事がこのチームを物語っています。

ケガもたくさんありました。この大会で活躍した3年投手陣の池崎、秋葉はともに、腰のケガを克服しての登板。サイドスローの技巧派石井、さらに本来俊足外野手の1塁コーチー樫村もケガで出場できませんでした。外野手の村田は鼻骨骨折、四番の岡野は膝の靭帯損傷。その他多くの選手がけがに泣かされました。その中でも、正捕手の萩谷勇太もケガに泣かされました。そのことが右の記事となったのです。

春の県北地区代表戦では磯原郷英高に勝って県大会には出たものの、公式戦はことごとく負けてきたチームでしたが、主将金澤翔の存在はチームの生命線でした。どんなに苦しい状況であってもチームの勝利のために全精力を費やしました。最高のキャプテンシーを発揮してくれました。右の記事の最後にある萩谷勇太のコメントがすべてを表しています。

「負けはしたけど日本一のチーム」この言葉がすべてです。齋藤と野上の二人のマネージャーも含めて13人、最高の3年生でした。お疲れ様。そして、支えてくれた方々へ心から感謝を!



# 2018 SUMMER!



## 茨城県立太田第一高等学校野球部 11

○「本気の夏、100回目」 3年生メンバー13名

